



印刷

シラバス参照

タイトル「2020年度シラバス-1年生(N/E/S)」、フォルダ「共通科目 (N/E/S) -女性を生きる」

シラバスの詳細は以下となります。

参照URL

科目名	子育てと環境																						
担当教員名	鈴木 晴子 山田 陽子 長田 瑞恵 近藤 有紀子																						
ナンバリング	NEc1015																						
学科	共通科目 (N/E/S) -女性を生きる																						
学年	1年	クラス	1Aクラス																				
開講期	前期	必修・選択の別																					
授業形態	講義	単位数																					
資格関係																							
実務経験の有無	有																						
実務経験および科目との関連性	保育現場及び特別支援教育の保育・教員実践、児童福祉施設等における職員研修等の経験を持つ教員の経験を活かし授業を行う。また、生き生きとした子どもの姿を撮影し続けている外部講師から、子どもや大人の表情について講話と質疑応答を通じて理解を持つ。																						
ねらい ①科目的性格 ②科目的概要 ③授業の方法 (ALを含む) ④到達目標 ⑤ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>①科目の性格 2~4年前期と後期で開講される全学共通科目「女性の自立・生き方を学ぶ」の1科目で選択必修科目である。1年制の「子育てと環境」と同時開講である。 現代社会における女性の生き方と地域との共生、社会課題について取り扱う。</p> <p>②科目の概要 現代女性の優れたモデルである本学園創設者「十文字こと」先生の生き方を理解した上で、現代における「子育てと環境」について、「子どもでいること」・「親になること」・「地域で育つこと」の視点から学ぶ。</p> <p>③授業の方法 (ALを含む) 講義が中心である。適宜、視聴教材を使用し、外部講師による講義も予定している。毎回リアクションペーパーとして気づきや感想の記載を求める。【リアクションペーパー】 【レポート(知識)】</p> <p>④到達目標 子育ては楽しく充実した営みであるが、現実には直面する課題や問題が多く、必ずしも子育てを楽しんでいるとは言えない場合も少なくない。そこで、子育てを楽しみ、充実させるために必要な視点について学び、豊かな子育てとは何かを理解する。また、女性の自立・生き方についても理解を深める。</p> <p>⑤ディプロマ・ポリシーとの関係 この科目は、大学のディプロマ・ポリシーの以下の資質・能力を育成することを目的とする。 ③-1 女性の自立・生き方</p>																						
内容	この授業は講義を基本とする。第1回から第14回授業に関しては、リアクションペーパーに取り組む。【リアクションペーパー】																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>「子育てと環境」に関するイントロダクション[山田・長田・鈴木・近藤]</td></tr> <tr> <td>2</td><td>女性の生き方 I [山田]</td></tr> <tr> <td>3</td><td>女性の生き方 II [山田]</td></tr> <tr> <td>4</td><td>子どもの表情および共に生きる大人たちの表情[山田]</td></tr> <tr> <td>5</td><td>母になること[長田]</td></tr> <tr> <td>6</td><td>親として[長田]</td></tr> <tr> <td>7</td><td>父になること[長田]</td></tr> <tr> <td>8</td><td>子どもとは[近藤]</td></tr> <tr> <td>9</td><td>子どもの育ちを学ぶ[近藤]</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	「子育てと環境」に関するイントロダクション[山田・長田・鈴木・近藤]	2	女性の生き方 I [山田]	3	女性の生き方 II [山田]	4	子どもの表情および共に生きる大人たちの表情[山田]	5	母になること[長田]	6	親として[長田]	7	父になること[長田]	8	子どもとは[近藤]	9	子どもの育ちを学ぶ[近藤]
回	内容																						
1	「子育てと環境」に関するイントロダクション[山田・長田・鈴木・近藤]																						
2	女性の生き方 I [山田]																						
3	女性の生き方 II [山田]																						
4	子どもの表情および共に生きる大人たちの表情[山田]																						
5	母になること[長田]																						
6	親として[長田]																						
7	父になること[長田]																						
8	子どもとは[近藤]																						
9	子どもの育ちを学ぶ[近藤]																						

	10	4歳児の育ちに注目する[近藤]
	11	子どもの生活の場を知る[近藤]
	12	子育てと子どもと地域と[鈴木]【レポート（知識）】
	13	さまざまな課題を抱える子どもを支える地域[鈴木]【レポート（知識）】
	14	地域をつくる、つなぐとは[鈴木]
	15	まとめ[鈴木・近藤]
各授業回における授業外学習の内容・所要時間		【事前準備】第1週オリエンテーションで、各教員ごとの講義内容を具体的に説明し、それに基づいた事前学習課題を示す。各授業に対して1時間半程度行う。 【事後学修】授業ノートをもとにその日の授業を振り返り、要点を押さえる。また、関連する文献や社会的事象を調べ、現代社会と子育て環境を捉える。各授業に対して2時間半程度行う。
評価方法および評価の基準		各回の振り返りレポート20%、授業課題等による授業への参加度・意欲20%、レポート課題60%とし、総合評価60点以上を合格とする。 【フィードバック】フィードバックシートを活用し、次回の授業開始時にフィードバックを行ったり、講義内容に反映させていく。授業課題に関するフィードバックは実施後行う。
教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）		テーマごとに各担当教員が資料を配布、紹介する。
学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など		「子育てと環境」という言葉から、あなたはどうようなことを思いますか？ 授業を通して女性の生き方を知り、子ども、保護者、地域に関して理解をしていきましょう。

山居录